

令和7年9月末の交通事故の特徴

発生件数	13,029件（	－846件）
死者数	60人（	－10人）
負傷者数	16,557人（	－1,305人）
飲酒事故	72件（	－2件）

【発生件数】

- 高齢者関連事故は4,560件（－248件）で約1割減少
- 1当高齢運転者の交通事故は3,292件（－81件）で微減
- 歩行者関連事故は1,526件（－187件）で約1割減少
- 自転車関連事故は1,980件（－171件）で約1割減少
- こども関連事故は455件（－49件）で約1割減少

【死者数】

- 福岡地区が24人（－3人）で最多
- 高齢者の死者数は35人（－5人）で全死者数の約6割を占め、うち75歳以上（後期高齢者）が23人（－6人）と高齢者の約7割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は14人（－7人）で約3割減少
- 歩行中死者数は28人（－2人）で全死者数の約5割を占める

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は72件（－2件）と微減
- 筑豊地区が8件（＋8件）と増加
- 郡部（町村）での発生が11件（＋4件）と増加
- 酒酔いが4件（＋2件）、基準以下が9件（＋7件）と増加
- 死者数は2人（±0人）と横ばい
- 6～8時が14件（＋4件）、4～6時が9件（＋3件）の順に多く発生
- 2～8時が29件（＋8件）と増加、10～20時が21件（－10件）と減少

注 （ ）の数値は、前年同期比